

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 1 年 10 月 10 日 (2019.10.10)

【公開番号】特開 2019-141127 (P2019-141127A)

【公開日】令和 1 年 8 月 29 日 (2019.8.29)

【年通号数】公開・登録公報 2019-035

【出願番号】特願 2018-25546 (P2018-25546)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 3

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 8 月 9 日 (2019.8.9)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技領域に遊技媒体を発射することにより遊技が可能な遊技機であって、
前記遊技領域は、
遊技媒体が進入可能な進入領域と、
遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態と進入し易い第 2 状態とに変化可能で、
前記進入領域よりも上方位置に配置可能な第 1 非電動可変手段と、
遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態と進入し易い第 2 状態とに変化可能な前
記第 1 非電動可変手段とは異なる第 2 非電動可変手段と、
を有し、
前記第 1 非電動可変手段は、第 1 作動部材が動作することにより前記第 1 状態から前記
第 2 状態に変化し、
前記第 2 非電動可変手段は、第 2 作動部材が動作することにより前記第 1 状態から前記
第 2 状態に変化し、
前記進入領域に進入した遊技媒体が前記第 1 作動部材に作用して該第 1 作動部材を動作
させるとともに、該第 1 作動部材に作用した遊技媒体が前記第 2 作動部材に作用して該第
2 作動部材を動作させるための作動経路を備える
ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

前記課題を解決するために、本発明の手段 A に記載の遊技機は、
前記遊技領域は、
遊技媒体が進入可能な進入領域と、
遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態と進入し易い第 2 状態とに変化可能で、
前記進入領域よりも上方位置に配置可能な第 1 非電動可変手段と、
遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態と進入し易い第 2 状態とに変化可能な前

記第 1 非電動可変手段とは異なる第 2 非電動可変手段と、
を有し、

前記第 1 非電動可変手段は、第 1 作動部材が動作することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し、

前記第 2 非電動可変手段は、第 2 作動部材が動作することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し、

前記進入領域に進入した遊技媒体が前記第 1 作動部材に作用して該第 1 作動部材を動作させるとともに、該第 1 作動部材に作用した遊技媒体が前記第 2 作動部材に作用して該第 2 作動部材を動作させるための作動経路を備える

ことを特徴とする。

また、手段 1 の遊技機として、

遊技領域（例えば、遊技領域 1 0）に遊技媒体（例えば、遊技球 P）を発射することにより遊技が可能な遊技機（例えば、パチンコ遊技機 1）であって、

前記遊技領域は、

遊技媒体が進入可能な進入領域（例えば、通過ゲート 4 1 や普通可変入賞球装置 2 8 など）と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態（例えば、閉鎖状態）と進入し易い第 2 状態（例えば、開放状態）とに変化可能な第 1 非電動可変装置（例えば、非電動可変入賞球装置 6 A）と、

遊技媒体が進入不能または進入困難な第 1 状態（例えば、閉鎖状態）と進入し易い第 2 状態（例えば、開放状態）とに変化可能な前記第 1 非電動可変装置とは異なる第 2 非電動可変装置（例えば、非電動可変入賞球装置 6 B）と、

を有し、

前記第 1 非電動可変装置は、第 1 作動部材（例えば、非電動可変入賞球装置 6 A の作動部材 3 0 4）が動作することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し、

前記第 2 非電動可変装置は、第 2 作動部材（例えば、非電動可変入賞球装置 6 B の作動部材 3 0 4）が動作することにより前記第 1 状態から前記第 2 状態に変化し、

前記進入領域に進入した遊技媒体が前記第 1 作動部材に作用して該第 1 作動部材を動作させるとともに、該第 1 作動部材に作用した遊技媒体が前記第 2 作動部材に作用して該第 2 作動部材を動作させるための作動経路を備える（例えば、普通可変入賞球装置 2 8 に進入した後、作動経路 2 0 4 に進入した一の遊技球 P が作動経路 2 0 4 を流下し、上段の非電動可変入賞球装置 6 A の作動部材 3 0 4、中段の非電動可変入賞球装置 6 B の作動部材 3 0 4、下段の非電動可変入賞球装置 6 C の作動部材 3 0 4 の順に接触して作動部材 3 0 4 を回動させることにより、非電動可変入賞球装置 6 A、6 B、6 C が順次開放状態に変化する。図 1 8 参照）

ことを特徴としてもよい。

この特徴によれば、一の遊技媒体により複数の非電動可変装置を異なるタイミングで第 1 状態から第 2 状態に変化させることができるので、遊技の興趣が向上する。